

歯科保健指導論

【前期】水 1 松山 美和, 渡辺 朱理

ここで紹介された資料は蔵本 2 階授業サポートナビコーナーにありますので、どうぞご利用ください。

(同じ本が 3 冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください)

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

指定教科書

- 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版/ 高阪利美 [ほか] 著 医歯薬出版, 2020

→ 歯科衛生士業務の核となる「歯科予防処置」・「歯科保健指導」の基本を学ぶことが出来るよう編集された歯科衛生士用テキスト。

【497.9||Sh】

- 歯科衛生ケアプロセス / 佐藤陽子, 齋藤淳編著 医歯薬出版, 2007

- 歯科衛生ケアプロセス実践ガイド / 佐藤陽子, 齋藤淳編著 医歯薬出版, 2015

→ 「歯科衛生過程(ケアプロセス)」は、歯科衛生士が対象者にとって最も望ましい支援は何かを自ら考え、その業務を科学的、論理的、計画的に行うためのツールである。この専門職として働くための基盤となる内容を詳しく説明した著書。

【497.9||Sh】

- 歯科衛生士のための禁煙支援ガイドブック/ 尾崎哲則, 埴岡隆編著 医歯薬出版, 2013

→ 「歯科保健指導」を習熟するために必要な歯科衛生士用テキスト。

【498.32||Sh】

参考書

- 歯科口腔保健の推進に向けてライフステージに応じた歯科保健指導ハンドブック/日本歯科衛生士会【監修】 医歯薬出版, 2014

→ ライフステージ別の目標に対する具体的な計画として「歯科保健指導」を習熟するために必要な参考書。歯科口腔保健の目標・計画を踏まえ、乳幼児期から高齢期までのそれぞれの時期における口腔状態とその機能、および歯科疾患の特性に応じた適切で効果的な歯科保健指導を実施するために役立つ一冊。

【497.9||Sh】

- 有病者の対応チェアサイド SOS ブック / 山近重生, 中川達哉, 中川洋一著 クインテッセンス出版 2010

→ 歯科診療において全身疾患の知識を持つことは今や不可欠である。歯科衛生士が遭遇しやすい 28 疾患の必要な知識を補充してくれる、超高齢社会時代のチェアサイドに必要と思われる参考書。

【497.2||Ya】

□ **健康日本 21（第二次） / 厚生労働省** 【<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kenkounippon21.html>】

国民の健康の増進の総合的な推進を図ることを目的とする平成 25 年度から開始した「健康日本 2 1（第二次）」に関する情報が記載されている。

□ **歯科口腔保健関連情報 / 厚生労働省**

【http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/shikakoukuuhoken/】

歯科口腔保健の推進に関する法律をはじめ、歯科口腔保健の推進に関する基本的事項など、歯科口腔保健に関連する情報が記載されている。